

平成 30 年度 第 6 回

おおさか環境ネットワーク会議議事録

日 時：平成 30 年 1 月 15 日（火） 18：30～20：10

場 所：大阪市環境局第 2 会議室 あべのルシアス 12 階

出席者：NPO 法人 リアルにブルーアースおおさか 武田氏

NPO 法人 日本ベジタリアン協会 関目氏

なにわエコクラブ 山元氏

NPO 法人環境情報ステーション pico、グリーンコンシューマー 大林氏

なにわエコ会議 山下氏

あおぞら財団 栗本氏

NPO 法人環境カウンセラー協会 田中氏

環境事業協会 阪本氏 正垣氏、

NPO 法人木育フォーラム 米地氏

菅原春秋堂 ふじいはじめ氏

昆虫科学教育館 久留飛氏、渡部氏

合同会社にしもく 西川氏

イー・ビーイング 井上

ファシリテーター：World Seed 岡見氏

事務局：井上

環境局 片岡

プログラム

1. 自己紹介&近況報告

ネットワーク新規参加団体よりの参加メンバー

昆虫科学教育館 久留飛氏・渡部氏、合同会社にしもく 西川氏

2. プログラム集について

進捗状況の共有

- ・各団体からの原稿の一覧表を配布、検討。
- ・100 文字程度としている内容の文章が、長すぎる団体が多いので、修正版を送っていただきたい。
- ・写真データがない団体も送っていただく
- ・文章、写真いずれも 20 日までに送っていただく

3. 最終回の講演について

事務局よりの提案

①地球規模で問題になっているプラスチックごみについて学ぶ

(講師候補：大阪市環境科学研究センター研究員)

②ネットワークの今後の進め方について事例などを紹介いただく

(講師候補：近畿大学総合社会学部環境系専攻教授 久 隆浩氏)

③他の自治体の事例をご紹介いただく (講師候補：みなみ淡路市、堺市など)

〈意見〉

- ・③の行政の事例については、都市の規模が同じくらいでないあまり参考にならないのではないか。
- ・おおさか環境ネットワークが、持続的な社会を子どもたちへというスローガンを掲げているならば、そのためにどのように協働連携していけばいいのかを考える機会になってほしい

今後MLで意見を募り、集まった意見を参考に事務局と環境局でテーマ、講師、日程を決めることとする

〈ML等での意見〉

- ・提案：④究極のプレゼンツール紙芝居講座を開催し、各団体のスキルアップを目指す。(講師 ふじいはじめ氏)
- ・提案：⑤大阪の防災現状 (講師 関西大学河田先生)
- ・提案：⑥環境をテーマに活動して行くうえで、NPO、市民、行政、政治、企業などの関わりや役割とは？ (講師 滋賀県知事嘉田由紀子氏)
- ・意見：①に興味がある
- ・意見：行政の目的、会の在り方等について刺激になる講演、ワークショップを希望する

4、山田君のグリーングッドな一日について

①進捗確認

企画書に沿って説明

②チームの確認と企画内容の検討

本日の出席者がチームに分かれて打合せ

チーム① なにわエコ会議、なにわエコクラブ、リアルにブルーアースおおさか、(環境カウンセラー協会)

ステージに手回し発電のブース、ステージ下のスペースは真ん中にパイプパズルのワークショップを置き、4隅にエコクラフト、風力発電、ソーラーキーホルダーのデコレーション体験などを配置する

ブースタイトルにプログラム集に記載しているタイトルを使うようにする

チーム② 木育フォーラム、あおぞら財団、環境事業協会、事務局岡見

チラシにラリーポイントも記載しておく

環境事業協会からラリーの景品の提供

チーム③④ 菅原春秋堂、環境情報ステーション pico、ベジタリアン協会、
プログラム集などからクイズを出し、答えられたら景品がもらえるよう
なブース出展を検討、紙芝居でクイズでもよい

チーム⑤ 昆虫科学教育館、にしもく、事務局井上
昆虫科学教育館とにしもくのコラボレーションで、例えば木をつかって
昆虫の顔を作るようなクラフトのブースとする
にしもくのおがっこアートや、昆虫科学教育館のクラフトも展示

- ・エコボランティアの出展、こどもエコクラブの展示も同時に行う
- ・出展に際しては、この機会だからこそできるコラボレーションを検討する
- ・チーム分けとゾーニングは必ずしも一致しなくてもよい
- ・今後のネットワークの活動につながるものにできるよう、ワークショップなどで、環境への啓発を行う
- ・ブースタイトルにプログラム集に記載しているタイトルを使うようにする
- ・イベントでの新しいコラボレーションも、プログラム集にのせてはどうか

③広報計画

- ・今年度のチラシは、両面カラー、印刷部数は未定だが、ヤマダ電機から半径 2 k m 前後にある小学校に全校配布の予定
- ・チラシにシールを貼るラリーポイントも記載しておく
- ・ヤマダ電機に広報にもご協力いただく（チラシに掲載など）
- ・なんばパークスでも液晶画面に掲示してもらえる予定

④今後の進め方の確認

- ・会場のご用意いただく机が足りない可能性がある。なにわ E C O スクエアから運び込むことも検討する必要がある
- ・前日 23 日夕刻から、準備開始できるので、会場設営を行う
- ・通用口から入退店する場合は、電子機器などの登録が必要
- ・当日はプログラム集のお披露目もするので、普段持っているプログラムも展示や紹介も行う
- ・今後もチームごとに打合せを行い、準備を進める

5、PR タイム

- ・エコネット近畿 ささやまミーティングご案内